



セーフコミュニティ通信 第42号

2025(令和7)年3月発行

セーフコミュニティ郡山

2018.2.2 国際認証取得

2023.2.4 国際認証再取得

SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS



セーフコミュニティフェスタこおりやま2025を開催しました！

2025.2.2 10:00-16:00

in 郡山市立中央公民館



2025年2月2日(日)にセーフコミュニティフェスタこおりやま2025を開催しました。当日は、まちづくりに関する表彰式を合同で執り行ったほか、展示ブースや啓発コーナーで安全・安心なまちづくりを体験したり考えたりする機会となりました。

交通安全パン等の販売



無事にカエル！



展示ブース



予防救急コーナー



AED操作に挑戦！
実際にやってみると、
いざという時に役立つね！



運転体験

安全運転アドバイス



UDコーナー



色弱体験メガネや点字付き絵本など
ユニバーサルデザインを体験！

自転車の危険運転を
VRで体験！



セーフコミュニティ啓発



ご協力ありがとうございました！

- あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 様
- 郡山地方広域消防組合郡山消防署 様
- 福島県立岩瀬農業高等学校 様

開催内容

セーフコミュニティ
フェスタこおりやま
2025

- 1 開式
- 2 式辞 郡山市セーフコミュニティ推進協議会会長 郡山市長 品川萬里
- 3 表彰 セーフコミュニティ賞 団体12 個人4
まちづくりハーモニー賞 団体13
男女共同参画推進事業者 団体6
セーフコミュニティパンフレット表紙デザイン受賞者 個人3
自転車ヘルメット着用推進校 団体2
- 4 祝辞 郡山市議会議長 佐藤政喜様
- 5 審査員講評
- 6 受賞者活動発表
- 7 活動発表講評 日本セーフコミュニティ推進機構 代表理事 白石陽子様
- 8 閉式

セーフコミュニティ賞

市内で安全で安心なまちづくりに取り組んでいる皆さんを、
令和6年度セーフコミュニティ賞として表彰しました



セーフコミュニティ賞受賞者のみなさん

(五十音順、敬称略)

- ・学校法人郡山学院
- ・郡山市消防団喜久田地区隊
- ・郡山地区交通安全協会小原田支部
- ・郡山地方消防防災協会
- ・相楽 行毅

- ・静団地地区子ども見守り隊
- ・高橋 哲美
- ・徳定町内会
- ・(特非) しんせい
- ・(特非) ファミリーホームいぶき

- ・富田交番連絡協議会
- ・鳥畑 一光
- ・中野第二町会児童見守り隊
- ・鳴神育成会
- ・鳴神町内会見守り隊
- ・良田 金次郎



代表受領

学校法人郡山学院様



活動発表

富田交番連絡協議会様

セーフコミュニティフェスタこおりやま2025の様子や受賞者の紹介はこちらの市ウェブサイトからご覧いただけます！



セーフコミュニティ パンフレット 表紙デザイン受賞者表彰

公募した作品の中から選ばれた、
セーフコミュニティ啓発用パンフレットの
表紙デザイン最優秀賞と優秀賞の皆さんを表彰しました

最優秀作品



最優秀賞 角田 都美 様
優秀賞 白土 広二郎 様
優秀賞 佐藤 なな 様

自転車ヘルメット着用推進校

ヘルメット着用率向上に積極的に取り組んでいる
市内の高等学校等を表彰しました



受賞校 福島県立安積高等学校
福島県立郡山東高等学校

代表受領



安積高等学校様

活動発表



郡山東高等学校
放送部の皆さん

セーフコミュニティ賞受賞者の皆さんの活動分野は、
「交通安全」の次に「防災」や「児童支援」の受賞が多く
ありました。昨今の生活環境の変化により、市民の意識が
変化している証だと思います。この地道な活動は大変意味
のあるものです。さらに住みやすい郡山になるよう、この
まちに住む私たちが作り上げていきましょう。

活動発表講評



日本セーフコミュニティ推進機構
代表理事 白石 陽子 様

たくさんの方々が色んな分野で協働
で活動されていて、こうやって明日
の郡山がつくれるのだと感じまし
た。分野は違いますが、みんなで協
働して郡山のために活動していると
いうところが共通点だと思います。
こういった機会で日頃接点のない団体とコラボレーション
をして、新しい取組にも繋がるとよいと感じました。

審査員講評



外傷サーベイランス委員会
委員長 寺西 寧 様

セーフコミュニティコーナー



市役所本庁舎入口のセーフ
コミュニティコーナーにて、
各表彰を受賞された皆さん
を紹介しています！



市役所に来た際には
ぜひご覧ください！



郡山地方広域消防組合における消防概況

= 予防救急 =

郡山地方広域消防組合は
けがなどを予防する
『予防救急』に
取り組んでいます。



2024年の消防概況の内容をまとめましたのでお知らせします。けがや事故による救急要請を減らすため、一人ひとりができることから始めましょう！

情報提供：郡山地方広域消防組合



火災の発生頻度

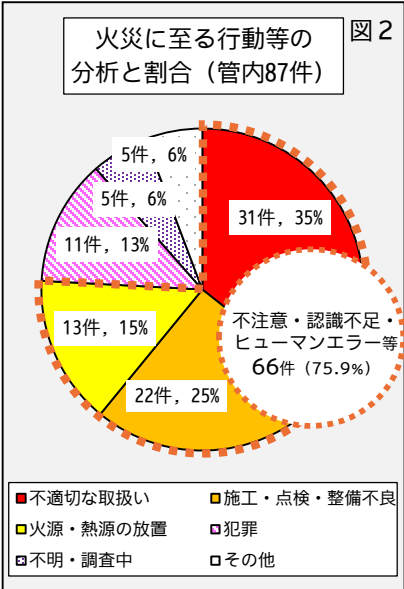
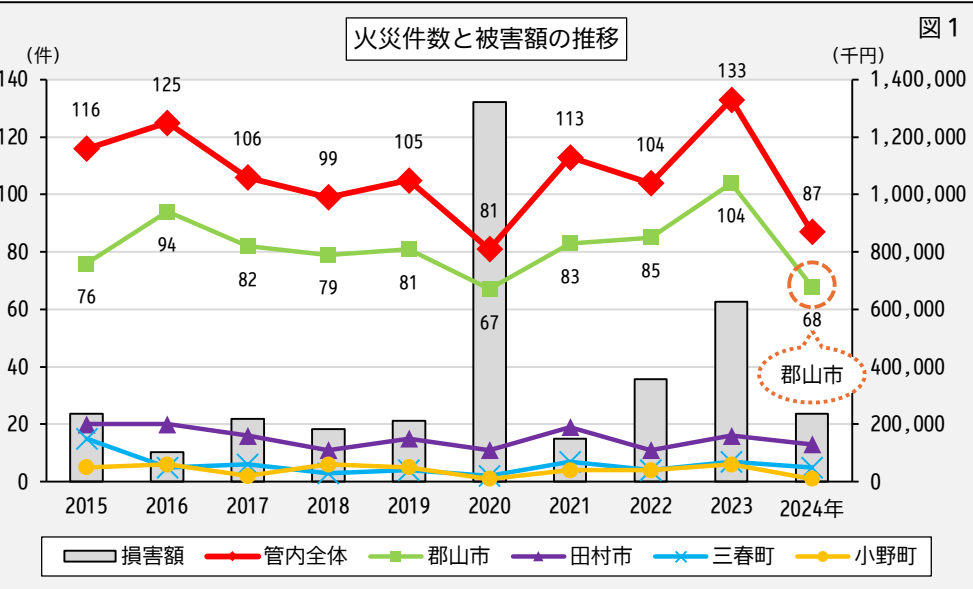
4.2 日に 1 件

- 火災編 -

2024年の管内（郡山市、田村市、三春町、小野町）の火災件数は87件で、前年と比べて46件減少しました。郡山市は68件で前年と比べて36件の減少となっています。（図1）

火災に至る行動・原因を詳細に分析すると、「不適切な取扱い」が最も多く31件、次いで「施工・点検・整備不良」が22件、「火源・熱源の放置」が13件と、「不注意・認識不足・ヒューマンエラー」等、犯罪以外の人の行動によって多くの火災が発生していることがわかります。（図2）

「犯罪」による火災も
まだまだ発生しているよ！
地域の目で放火等の
犯罪を起こさせない
環境にすることも大切！



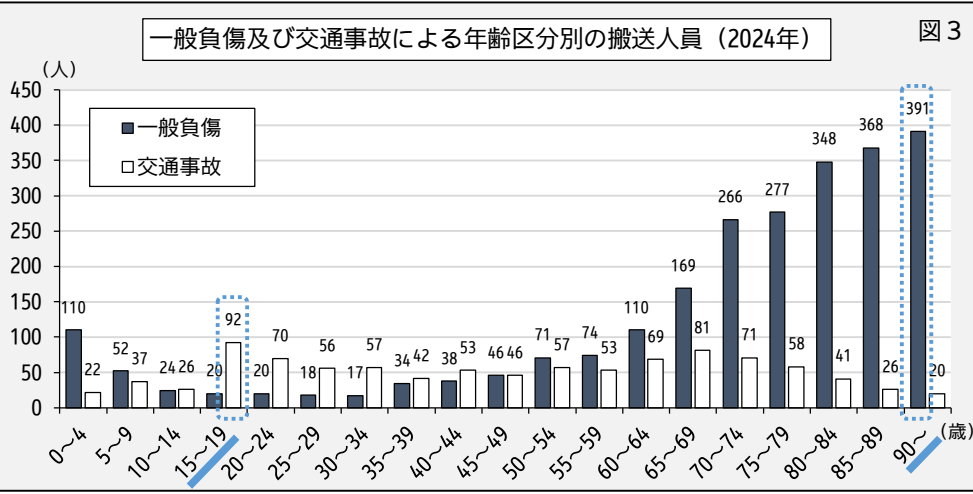
- 救急編 -



救急出動の頻度

1 日に 53.4 件

2024年の管内の救急搬送人員は17,596人で、前年と比べて388人増加し過去最高値となりました。（図3）



年齢区分別にみると一般負傷による搬送人員で最も多いのは「90歳以上」となっています。原因としては「転倒・転落」が全体の約7割を占めており、運動能力の低下した高齢者や未発達な「0~4歳」の年齢区分での搬送人員が多くなっていると推測されます。

一方、交通事故による搬送人員は「15~19歳」が最も多くなっており、自転車事故での搬送人員が多くなっていると推測されます。

発行 郡山市セーフコミュニティ推進協議会 / 2025(令和7)年3月

【お問合せ・連絡先】

事務局：郡山市市民部セーフコミュニティ課セーフコミュニティ推進室（郡山市役所西庁舎3階）

電話 024-924-2151 ファクシ 024-921-1340

メールアドレス safecommunity@city.koriyama.lg.jp

郡山市 セーフコミュニティ

検索

X(旧ツイッター)アカウント

『セーフコミュニティこおりやま』では、安心・安全につながる活動や、セーフコミュニティ活動の取り組み事例などを紹介しています。



@sc_koriyama

みなさんのフォローをお待ちしています！

